



すくすく



かねはら小児科ニュース
3

平成 13 年 4 月 2 日発行
発行人 金原 洋治

入園 入学を迎えた

子ども達のお母さんへ



金原 洋治

入園・入学おめでとございませう。新しい環境にだいた慣れてきまして、4月・5月になると小児科には、他の季節と違った相談が増えます。

おしっこが近くなってきた

子ども達は数ヶ月前からもうすぐ保育園や幼稚園・小学校に入るといふ心構えを周囲から聞かされてきています。言われなくても、本人なりにかなり緊張しています。大人でも緊張するとおしっこが近くなりますが、子ども達は症状が強くてやすいようです。周囲の人たちは、あまりプレッシャーを与えないようなどは出来るだけ言わないようにして、ゆったりと過ごせるように気をつけましょう。症状がひどい時は、一週間くらい抗不安薬を使うと改善してきますのでご相談ください。

たびたび熱をだす

入園したとたんの一ヶ月に何度も熱がでるといふ内容の受診が増えてきます。保育園や幼稚園のように年齢が低い子ども達の集団では常に数種類の感染症が流行しています。今まで、感染の機会がなかったのを熱をだすことも少なかったのですが、入園した一年間はそれぞれの季節に流行するかぜ（春かぜ・夏かぜ・秋かぜ・冬かぜ）にかかり自分で免疫をつくってゆきます。いつかは、かぜにかからないと自分では免疫をつくれません。予防接種をしていると言いつもりで気長に『かぜ』とつき合いましょう。予防できる感染症は予防接種があるものだけです。母子手帳を見て、受けていない予防接種があればできるだけ早めに受けておきましょう。

また、4・5月は精神的にも肉体的にも疲れがたまる時期です。ストレスは免疫を低下させ感染症にもかかり易くさせます。休日は遠出は避けてゆっくりと過ごしましょう。



5月からポリオワクチンの接種がスタートします

予約開始 : 4月2日より
接種期間 : 5月8日より 6月中旬
時間 : 12時15分から
13時45分から

15分前までに母子手帳を持って、受付にお越しください
来院前に自宅を熱を測っておいてください



ポリオワクチン服用後の注意

服用後 30 分位は指しゃぶりやおしゃぶりや飲食をさけてください。
服用した日のお出かけはやめてゆっくりして下さい。
入浴はしてもいいです。
服用して 4 週間を過ぎてから、次の予防接種が出来ます。
服用後、異常な症状（高熱・吐く・けいれん等）がある時は、速やかに医師の診察を受けてください。

デイケアハウスのみ

稲永 祐一

デイケアハウスのみは、かねはら小児科の二階にあります。ここには、主に重症心身障害と呼ばれる重い障害を持った方がやってきます。中には、呼吸や摂食などの問題で、医療的なケアが必要な方もいらっしゃいますので、小児科スタッフの御協力の下、こつした方々が日中安全・安楽に過ごす場となっています。かねはら小児科と同時にスタートしたデイケアも丸三年が過ぎようとしています。その間、ずっと重度な障害を持つ方と過ごしてきて、教えられたことが多々ありました。その教えられたことの一つを紹介したいと思います。

デイケアのメンバーの多くは寝たきりですが、寝たきりの彼らは寝た姿勢が決して楽ではありません。寝た姿勢では全身が硬くなって反り返ったり、呼吸が乱れたりする人もいます。姿勢や運動の発達は、平面的安定性への信頼を前提条件に、重力に逆らっていくこととイメージしていますが、彼らは前提となる

平面でさえも安定感を得られないようには見えませんが、安定感を感じてもらったための一番良い方法は上手に抱っこしてあげることです。其の安定が、次の発達のステップとなります。

動物的な運動や姿勢の発達の基盤が平面的安定性と重力とすれば、人間らしい情緒とか社会性とかの発達の基盤は何でしょうか。それは育ててくれる人（多くはお母さん）への絶対的な信頼感のような気がします。この信頼があつてこそ、今後出会うであろう様々な人に対する信頼感や、社会に対する信頼などが広がっていくものと思います。基礎がしっかりしていればこそ、高いビルも建てられるというものでしょう。

『きのみ』に來られた方は、発達の基底の部分でつまづき、立ち止まっている人が多いのですが、それならばこそ人に伝えられる多くのものを持つていると感じる今日この頃です。



おすすめの本

子育て楽主義

山田 真 著 講談社

うちの子はよく泣くの、食べないの、指しゃぶりがつづくのなど、子どものちょっと気になるしぐさやせ、眠りや食べることについての心配ごとに小児科医である著者が分かりやすく答えてくれます。子どもは一人一人違っているいろいろな個性があります。子育ては好きなようにやればいい、こうでなくてはいけないというものではないと読んでいます。ゆったりと子育てをしてみましょう。

“音”を見たことがありますか

パリアフリーブック E&Cプロジェクト編 小学館

耳が聞こえないってどんなこと？ 子どもと一緒にページを開いて下さい。耳が聞こえない人のことを少しでもわかって欲しい。まんが形式で、誰にも分かりやすい本です。

外来文庫にあります。(貸し出し可)



みかんちゃんの一言メモ
診察を受ける時には
どうしたらいいの？



先生に聞きたいことは出来るだけメモしておいてね。熱は？ 咳は？ 吐いている？ 下痢は？ おなかが痛い？ ブツブツは？ など 気になることを書き出してみよう 受付で気になることを言ってね。ブツブツがあったり、お顔が腫れている感じがしたら 看護婦に見せてね。 (他の子ども達に移るといけないからね) 名前を呼ばれたら返事をしてね。(居ないと思って、次の方を呼ぶことがあります) 診察を受ける前は、洋服のボタンなどをはずして、診察を受けやすくしておいてね。診察券は毎回出してね。(月1回は保険証も忘れないでね)

編集後記

つい最近、雪が降っていたかと思えば、いつの間にか桜の舞う季節となりました。待ちに待った春ですね。入園・入学式・お花見などイベントがめじろ押しこの季節ですが、中には花粉症でお悩みのお母さんいらっしゃるので？ (実は私もその一員です) 花粉に負けず、元気に外へ飛び出して、子ども達と一緒に楽しい思い出を沢山作りたいですね。

みかんの自己紹介



私は、金原家次女の“みかん” 2才です。毎日ご主人と一緒に、かねはら小児科に通ってきています。皆の泣き声や笑い声を聞くのが、何よりの楽しみです。今日もまた、あのコが来ているかなと・・・ 皆さん、よろしくおねがいします。